

平成28年度 北九州港(新門司地区)航路(-10m)浚渫[暫定-8m]工事のお知らせ

次のとおり、北九州港(新門司地区)泊地(-10m)の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近を航行する船舶は十分な注意と工事へのご協力をお願い致します。

■ 航行船舶へのお願い

- ① 本工事区域を航行する船舶は、十分注意するとともに、減速等のご協力をお願い致します。
- ② 本工事に伴う工事実施状況の確認は、下記「新門司支援業務室」までお願いします。
- ③ 付近を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取して下さい。

1. 工事期間及び工事時間

地区名	種別	最大隻数	予定期間	作業時間	警戒船
新門司地区航路(-10m)	磁気探査・潜水探査	16隻	平成28年5月下旬～平成28年6月上旬	日の出～日没	2隻
	グラブ浚渫	2隻	平成28年6月上旬～平成28年6月下旬		

※ 潜水探査については、浚渫工事が行われていない日に実施致します。
 ※ 平日の作業を原則としておりますが、作業の進捗状況により休日の作業が発生する場合があります。

地区名	種別	平成28年			備考
		5月	6月	7月	
新門司地区航路(-10m)	磁気探査・潜水探査		■		
	グラブ浚渫		■		

2. 工事場所

北九州港(新門司地区)航路(-10m) (図-1 参照)

3. 工事概要

- 3-1 磁気探査・潜水探査
- 1) 磁気探査を行い異常点があった場合には、各潜水士船から潜水士1名が潜り、磁気探査機又は簡易探査機を使用し探査区域内を移動しながら作業します。
 - 2) 潜水作業の投入隻数は、1船団(4隻)を基本とし、最大4船団(16隻)までとします。
- 3-2 浚渫工事
- 1) スパッド式グラブ浚渫船(最大2隻)にて浚渫を行います。

4. 工事の安全対策等

- 4-1 共通事項
- 1) 作業船には、海上衝突予防法に定められた形象物を掲げます。
 - 2) 作業時はできる限り可航幅が広がるよう確保し、作業船は通航船舶の流れに平行に配置します。
- 4-2 潜水探査
- 1) 作業中は、探査区域の四隅に俵パイを設置します。
 - 2) 潜水作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船を潜水士船団の周辺に配備します。
 - 3) 警戒船については2隻配備するものとし、うち一隻は国際VHF無線を装備した指揮船を配備します。但し、2船団を超える場合については、警戒船を1隻追加し3隻配備するものとし、
- 4-3 浚渫工事
- 1) 浚渫工事を行わない時、浚渫船は、停泊場所に停泊します。
 - 2) 浚渫工事中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船を浚渫船団の周辺に配備します。
 - 3) 警戒船については2隻配備するものとし、うち一隻は国際VHF無線を装備した指揮船を配備します。

問い合わせ先：新門司支援業務室 ((公社)西部海難防止協会)
 TEL: 093-483-1185 FAX: 093-483-1186
 HP: <http://www12.ocn.ne.jp/~shinmoji/>

◇工事施工における問い合わせ先◇

国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所
 第一工務課 TEL: 093-321-4634
 新門司出張所 TEL: 093-481-0763
 HP: <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kitakyusyu/>

図-1. 工事区域

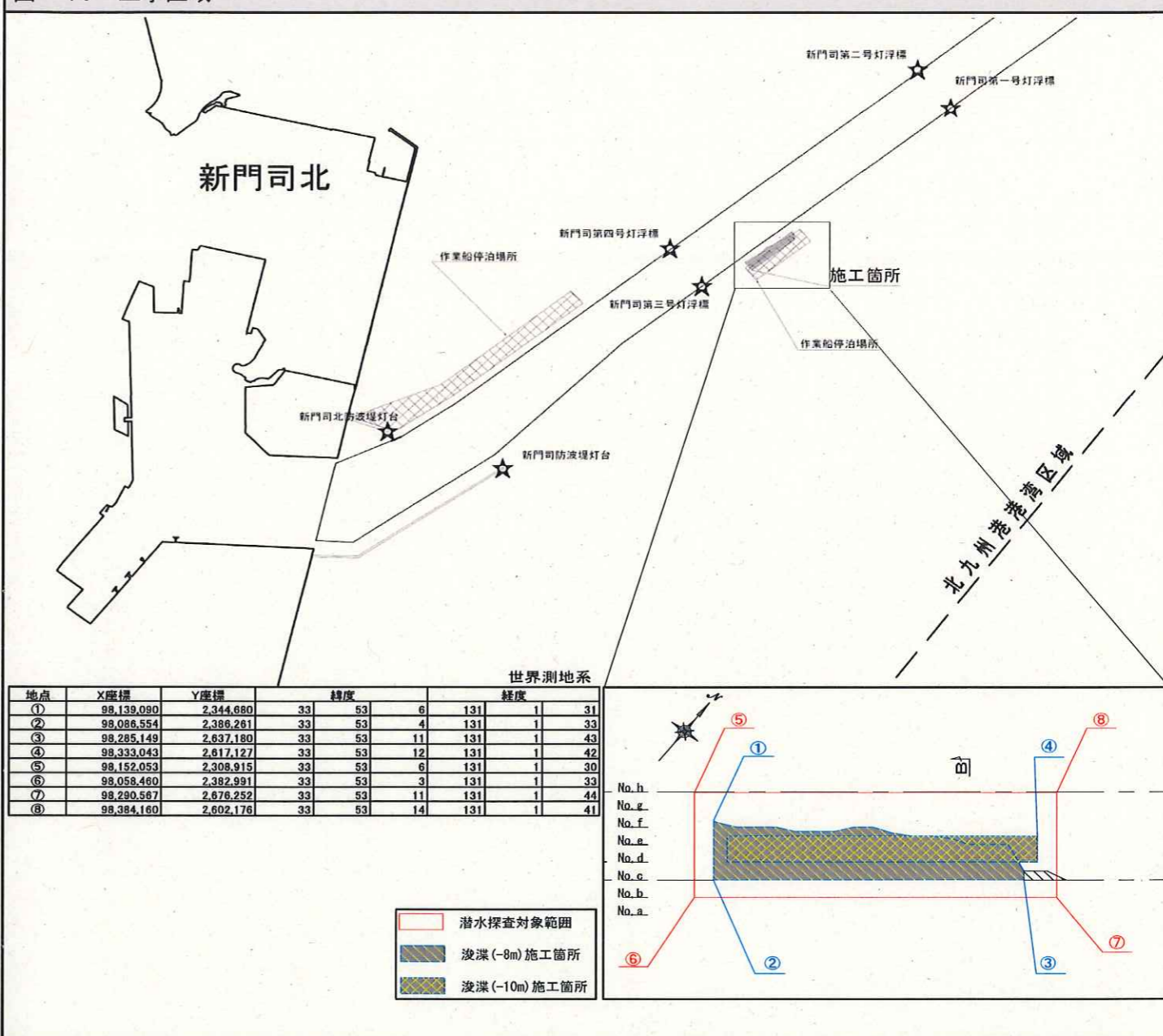


図-2. 潜水探査時の潜水士船配置例図

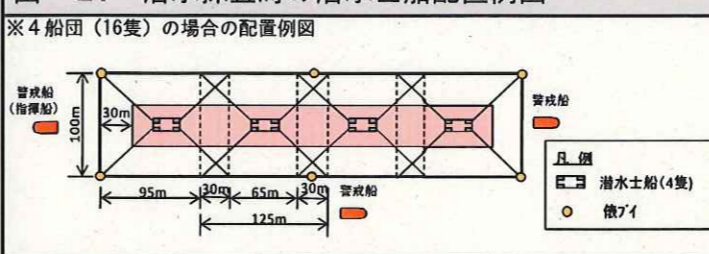


図-3. スパッド式グラブ浚渫船の灯火及び形象物

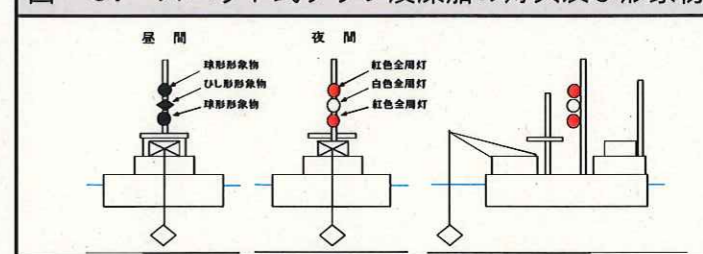


図-4. 俵パイ詳細

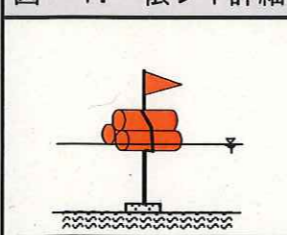


図-5. 潜水士船の標識

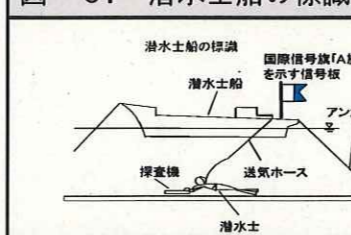


図-6. 警戒船の標識

